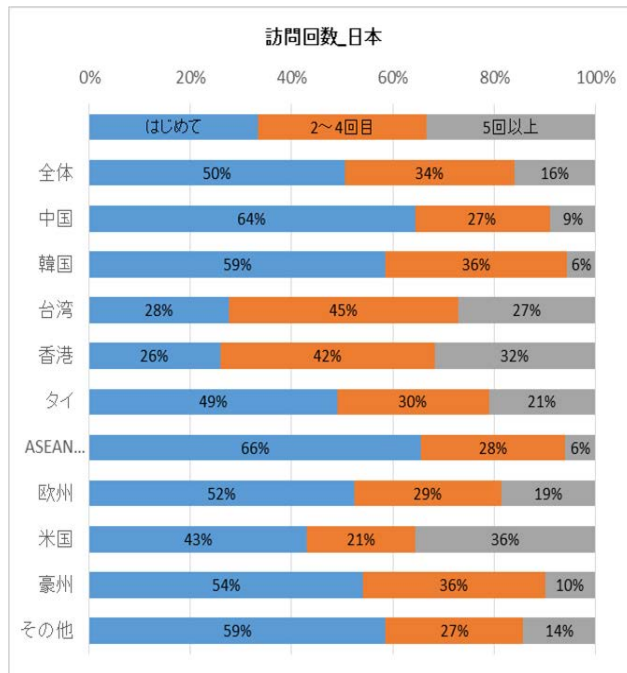


参考資料：調査結果のご紹介（一部）

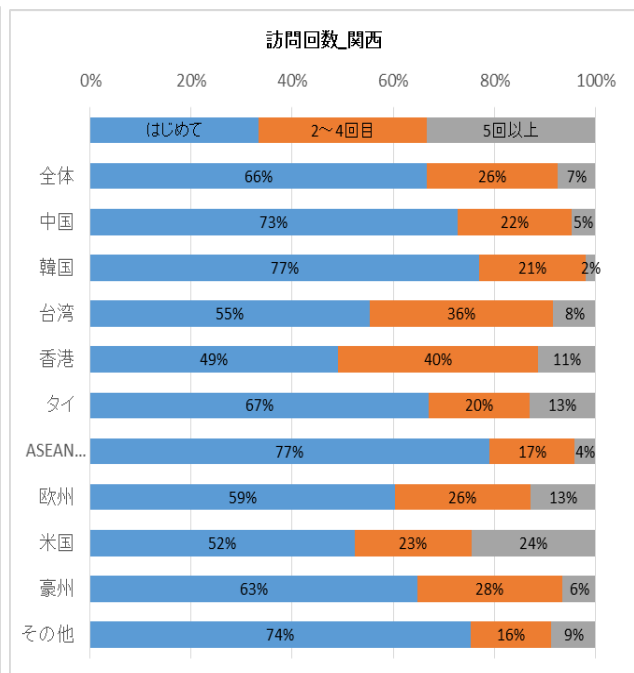
1. 関西地域への旅行経験

全体で見ると 50%がはじめての来日、66%がはじめての関西訪問となっている。台湾・香港客はリピーターが多く、70%が2度目以上の来日。半数は関西への訪問も2度目以上となっている。

図表 1-1 日本への訪問回数（国分類別）



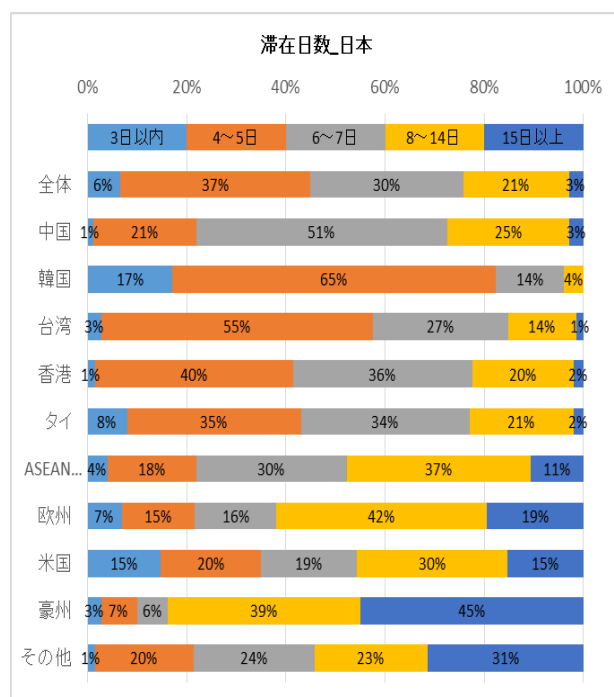
図表 1-2 関西への訪問回数（国分類別）



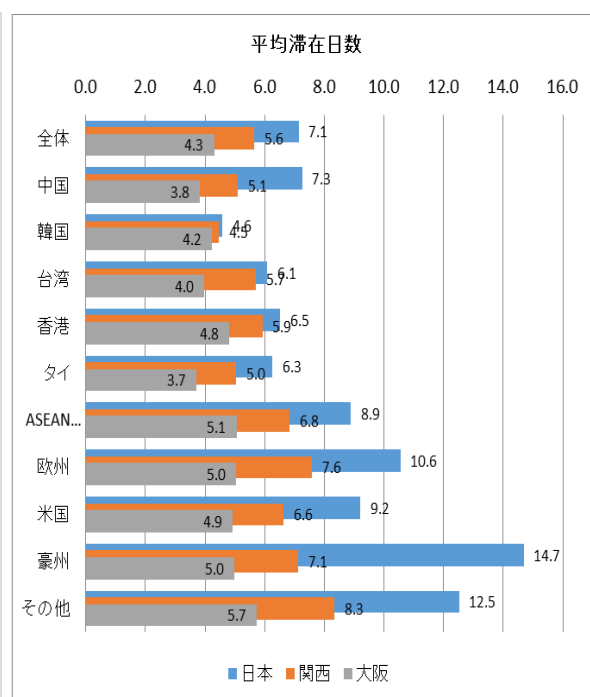
2. 関西地域での滞在日数

日本での平均滞在日数は、アジア客はおおむね 1 週間以内、欧米・豪州客は 10 日～2 週間程度となっている。しかし大阪・関西での滞在日数にはそこまで大きな差はなく、たとえば大阪での滞在日数はアジア客はおおむね 4 日前後、欧米・豪州客はおおむね 5 日前後である。

図表 2-1 国別 日本での滞在日数（分布）



図表 2-2 国別 大阪・関西・日本での滞在日数（平均）



3. 観光地別の認知・訪問・再訪意向の状況

本調査では、下記の観光地・エリアについて訪日外国人旅行者の訪問状況などを聴取、分析を行った。

図表 3-1 調査分析対象エリア・観光地

①訪問先としての集計・集約対象エリア		②個別に訪問状況・意向などを確認している訪問先(大阪)		③個別に訪問状況・意向などを確認している訪問先(京都)		
大阪	海遊館・天保山	大阪 (キタ)	梅田スカイビル	京都	嵐山	
	USJ		グランフロント大阪		龍安寺	
	梅田・大阪駅		LUCUA(OSAKA、1100)		金閣寺	
	心斎橋		ハービス(PLAZA、ENT)		京都タワー	
	難波		ヨドバシカメラ		JR京都伊勢丹	
	日本橋		大丸百貨店		伏見稲荷	
	あべの・天王寺		ディアモール		清水寺	
	通天閣・新世界		阪神百貨店		貴船神社・鞍馬寺	
	大阪城		阪急百貨店		平等院	
			阪急三番街		祇園	
京都	京都駅周辺	Nu茶屋町・Nu茶屋町プラス	銀閣寺	京都高島屋		
	二条城・烏丸・河原町	阪急メンズ大阪	大丸京都店	二条城		
	東山	HEP(FIVE、NAVIO)	比叡山・延暦寺	大原三千院		
	金閣寺周辺	エスト				
	宇治・伏見	大阪 (ミナミ)	BIG STEP			
	嵐山・嵯峨野		心斎橋OPA			
	洛北		ヤマダ電機			
	比叡山		なんばPARKS			
	滋賀		琵琶湖	日本橋筋商店街		
	兵庫		姫路	なんばCITY		
六甲山・有馬			黒門市場			
甲子園			大阪高島屋			
奈良	神戸・三宮		マルイ			
	奈良公園・東大寺		ビックカメラ			
和歌山	和歌山市内	道頓堀				
	高野山	心斎橋筋商店街				
		大丸・松坂屋百貨店				

この中から、一部、図表 3-2 に特徴的な結果を示す。

図表 3-2 観光地・エリア別事前認知率・訪問率・再訪意向率

	事前認知	訪問	再訪意向
難波	56%	75%	54%
USJ	43%	29%	54%
大阪城	50%	49%	36%
清水寺	45%	38%	43%
金閣寺	40%	32%	35%
嵐山	26%	17%	44%
貴船神社・鞍馬寺	7%	2%	34%

- 「難波」は、訪問率ももっとも高く、再訪意向(実際に訪問した人のうち「また訪問したい」と回答した人の割合)も高い。ターミナルとしての拠点性の高さに加えて、訪日外国人旅行者にとって満足度の高いエリアでもあったと考えられる。
- 「USJ(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)」は、エンターテインメント施設の特性として、事前認知に対して訪問率が相対的に低くなっているが、再訪意向は高く、実際に訪問した人の満足度は高いと考えられる。
- 「大阪城」「清水寺」「金閣寺」については、事前認知・訪問率の高さに比べて再訪意向がやや低くなっており、初めて関西を訪れた層にとって入門的な観光地になっている可能性を示唆している。
- 「嵐山」「貴船神社・鞍馬寺」など、実際の訪問率はまだ低いものの、再訪意向が高い観光地については、これからの来訪者の伸びが期待される。

4. 観光地別の推計訪問者数・流動数

関西圏の主要観光地・エリアの2015年時点での訪問者数の推計を行った。大阪では難波・心斎橋エリアには年間588万人、梅田・大阪駅エリアには年間497万人が来訪。京都では東山に年間392万人が来訪している。

図表 4-1 観光地・エリア別の訪問者数推計値

		訪問者数	訪日客全体に占める割合
大阪	海遊館・天保山	88 万人	4%
	USJ	232 万人	12%
	梅田・大阪駅	497 万人	25%
	心斎橋	588 万人	30%
	難波	588 万人	30%
	日本橋	265 万人	13%
	あべの・天王寺	156 万人	8%
	通天閣・新世界	128 万人	6%
	大阪城	383 万人	19%
京都	京都駅周辺	209 万人	11%
	二条城・烏丸・河原町	192 万人	10%
	東山	392 万人	20%
	金閣寺周辺	253 万人	13%
	宇治・伏見	202 万人	10%
	嵐山・嵯峨野	150 万人	8%
兵庫	姫路	29 万人	1%
	神戸・三宮	109 万人	6%
奈良	奈良公園・東大寺	103 万人	5%

また、同様に2015年時点での関西圏における訪日外国人旅行者の流動量(移動の延べ回数)を下記のとおりと推計した。総流動量は9658万トリップ、大阪府内だけで5329万トリップ、府県間移動では大阪-京都間がもっとも多く1274万トリップ(延べ1274万人が大阪-京都間を行き来している)と推計された。

図表 4-2 府県間の流動量(推計値) 単位: 万トリップ

	大阪	京都	兵庫	奈良	和歌山	滋賀
大阪	5,329					
京都	1,274	1,850				
兵庫	361	86	145			
奈良	267	121	12	32		
和歌山	52	7	3	4	34	
滋賀	22	38	2	4	0	14